

(資料3) 平成20年度共同研究契約について

番号	共同研究課題名	区分			
		企業	独法等	大学等	その他
1	生ゴミの資源・循環システム技術の開発・評価に関する研究				●
2	生活排水対策としての新たな浄化槽の標準評価方法の開発研究				●
3	海域の油汚染に対する環境修復のためのバイオレメディエーション技術と生態系影響評価手法の開発				●
4	定量的構造活性相関(QSAR)手法を用いた化学物質生体毒性予測手法の開発			●	
5	GOSAT/CAIを利用したエアロゾルと雲情報の抽出に関する研究			●	
6	ミセル分配系を利用した環境中有害物質の除去		●		
7	遺伝子組み換え作物から近縁野生種への遺伝子浸透における組み替え遺伝子座の影響		●		
8	生物微弱発光を応用した化学物質生態リスク評価手法の研究	●			
9	東京湾におけるマコガレイ仔稚魚の加入変動の解明に関する共同研究				●
10	マイクロバブルを利用した湖沼などの閉鎖性水域の環境改善に関する研究		●		
11	室内環境及び製品中の有機臭素系難燃剤の挙動調査に関する共同研究	●			
12	新規分泌ルシフェラーゼを利用した環境ホルモンバイオアッセイ法の改良に関する研究		●		
13	BAP装置内の細胞環境の最適化			●	
14	森林における炭素循環機能に関する観測研究	●		●	
15	マイクロアレイを用いた新規環境リスク評価手法の開発	●			
16	化学的・生物学的評価法を併用した水中有毒有機汚染物質の放射線照射処理技術の開発		●		
17	温泉保護政策に資する定性的かつ定量的な温泉流動モデルの構築				●
18	「自動車排出ガスに起因するナノ粒子の生体影響」に関する共同研究に係る覚書				●
19	デポジット制度の調査・比較研究			●	

番号	共同研究課題名	区分			
		企業	独法等	大学等	その他
20	生態毒性の定量的構造活性相関（QSAR）手法に関する研究			●	
21	GOSATデータ処理プロダクトの誤差評価に関する研究			●	
22	海洋における溶存炭素中の放射性炭素測定と炭素循環研究		●		
23	環境化学物質の影響を測定した遺伝子発現データ解析に関する研究（継続）		●		
24	貿易の自由化が環境負荷に及ぼす影響の実証研究			●	
25	野鳥由来検体を用いたLAMP法によるA型インフルエンザウィルス検出に関する研究	●			
26	バイオアッセイ法による石炭灰の有効利用のための環境リスク評価技術の研究	●			
27	やんばる生態系の有機水銀解明			●	
28	大量ジョブの効率的な処理方式に関する研究			●	
29	有機系廃棄物の水蒸気ガス化・改質による水素製造技術開発			●	
30	東シナ海の水塊構造とプランクトン生態系を介した親生物元素の循環に関する研究		●		
合計		6	8	11	6

注 共同研究課題数（30件）は、同一課題で複数の機関と契約を締結しているものがあるため、区分毎の数の合計（31件）とは合致しない。

独法等： 国立試験研究機関、独立行政法人

大学等： 国立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、学校法人

その他： 公益法人、地方公共団体研究機関